

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民芸術劇場事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	優れた舞台芸術の鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興を図る。
事業内容	・市民団体と市教育委員会職員で組織された実行委員会で、コンサート等を実施し、市民に低廉な価格で舞台芸術の鑑賞の機会を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和60年1月に第1回公演を開催し、これまで様々な演目を公演している。 ・本事業は平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	入場者数	750	722	439	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 若年層の来場を目指して、新たなジャンルに挑戦したこともあり、入場者数が減少した。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,246,000	4,184,800	4,136,800	
事業費(b)(円)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
うち一般財源	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
職員給与費(c)(円)	2,746,000	2,684,800	2,636,800	
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市民芸術劇場としては、新しいジャンルの演目となるコンテンポラリーダンスを企画し、舞台芸術鑑賞の機会を幅広い層に提供する。	③取組における課題(Check)	引き続き上質な芸術の公演を実施し、多くの市民の来場を図る。
②H30に実施した取組(Do)	コンテンポラリーダンスへの理解を深めてもらうため、ゲネプロの公開や展示ブースを設置した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	市民ニーズに応えた企画の立案と、来場者数を増やすためのPRの実施。